

すべての赤ちゃんが「家庭」で育つ社会を目指して

「世界こどもの日」国連・子どもの権利条約採択 25 周年記念シンポジウム

「家庭で育つ権利」を謳う「子どもの権利条約」。このとりのゆりかご（通称「赤ちゃんポスト」）から見える現実を手がかりに、日本の現状を見直してみませんか。

11/20 (木) 13:00 ~ 16:30 (開場 12:30)

会場

日本財団
2階大会議室
(東京都港区赤坂1-2-2)

参加費

無料

定員

200名

(事前申込を優先させていただきます)

※ 子連れのママ・パパも歓迎します！キッズスペース、授乳スペースあり。参加者の皆様はご理解ご協力をお願いいたします。
※ NPO や支援団体のブースが多数です。あなたにもできることがきっと見つかりますよ。

プログラム

総司会

サヘル・ローズ(女優、タレント)

第一部 今、赤ちゃんがおかれた現状を知る

【基調講演 1】 田尻由貴子 (医療法人聖粒会慈恵病院元看護部長、現妊娠相談 S O S 相談員)
国内報告：『このとりのゆりかご』と全国妊娠相談 S O S からみえる課題

【基調講演 2】 上鹿渡和宏 (長野大学准教授、児童精神科医)
海外報告：社会的養護についての実証研究及び脱施設化の動きについて
～施設養護が子どもの発達に与える影響に触れながら～



総司会
サヘル・ローズ

第二部 明日に向かって！ ～赤ちゃんのため、私たちがすべきこと～

① 関係者によるスピーチ

鈴木英敬 (三重県知事) 「三重県のめざすもの～知事として父として～」
竹内洋 (東京大学客員教授) 「少子化対策・日本経済へのメリット」(仮題)
青葉紘宇 (里親、NPO 法人 東京養育家庭の会 理事長) 「乳幼児の里親を増やすために」
高橋恵里子 (日本財団福祉特別事業チームリーダー) 「今後に向けた論点整理」
その他、元里子・養親・里親など当事者の声などを予定



田尻由貴子

② パネルディスカッション：赤ちゃんの養子縁組・里親委託に向けて

～改善すべき実務と制度とは？ 現在の問題点とあるべき未来像から探る

モデレーター：土井香苗 (ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表、弁護士)
立法の視点：国会議員 (依頼中)
児童相談所からの視点：藤林武史 (福岡市子ども総合相談センター 所長) (依頼中)
民間支援の視点：渡邊守 (NPO 法人キアセット ディレクター)
専門家の視点：上鹿渡和宏 (長野大学准教授、児童精神科医)
里親の視点：吉成麻子 (千葉県の養育里親)



上鹿渡和宏

参加申し込み

右記の URL または QR コードより
事前申し込みをお願いいたします。

<http://urx.nu/d1lo>



会場アクセス

東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅出口 3 番 徒歩 5 分
南北線・銀座線「溜池山王」駅出口 9 番 徒歩 5 分
丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前駅」出口 3 番 徒歩 10 分



お問い合わせ

日本財団代表

Tel : 03-6229-5111 Email : tokubetsu_youshi@ps.nippon-foundation.or.jp